

〔課題名〕 国産チーズ振興のための諸条件に関する調査研究

〔報告書No.〕 93

〔研究年度〕 平成12～13年度

〔研究者〕 並木 健二 山本 文裕

1. 目 的

わが国の牛乳乳製品をめぐる市場情勢は、近年緩やかな転換期を迎えている。生乳の需給動向でこれをつぶさに捉えてみると、①90年代における牛乳乳製品全体の需要は、消費者の健康志向に支えられて堅調に拡大したが、②生乳用途で大きなウエイトを占める飲用向けに陰りが見え始め、③供給面からは、96年の865万9千tをピークに減少局面に入っ、④飲用向け処理量の変化が微妙に影響して、乳製品向け処理量が僅かながら増えつつあるとはいえ、⑤乳製品需要増加の大部分が輸入乳製品、とくに輸入チーズで賄われているという現実がある。

本研究の主たる課題は、生乳需要の安定的拡大のために、従来のバター・脱脂粉乳を中心とする乳製品の生産構造を、今後とも消費の増加が期待されるチーズを中心とするものに転換する可能性を究明することである。これまでわが国酪農の発展を支えてきた諸条件が、農業政策の国際化対応にともない失われつつある今日にあって、国産チーズの振興は生乳市場の需給均衡的拡大を促進する有効な政策的手段であると同時に、わが国酪農の持続的発展を担保する可能性を有していると考えられる。

2. 方 法

本研究では前述の課題に接近するため第1に、わが国のチーズ需給構造にどのような特徴があるのかを解明する。ここでは需給構造を分析するにあたり、チーズの消費量をプロセスとナチュラルに区分し、その特徴をより明確に浮き彫りにするという方法を試みるが、とくに増加し続ける輸入チーズの動向とそれが国産チーズの生産、流通、消費面に与える影響などを明らかにする。さらに、大手乳業の市場占有率の分析によって、チーズの供給構造の特徴に言及する。

第2に、チーズ需給構造の特徴を現出させている要因とは何かを明らかにする。わが国の経済成長とともに急速に変化した国民の食料消費行動、そのなかで急激な拡大をみせたチーズ需要、また農産物自由化にともなうチーズ市場の開放、それに対する国内チーズメーカーの市場戦略、さらに生乳の需給調整機能を偏重した国産チーズ振興策の展開過程などを究明する。

第3に、それまでの分析を踏まえ、チーズ自給率向上の可能性を究明する。はじめに、国産化の可能性が高いチーズは直接消費用なのか、それともプロセス原料用なのかが問われる。この問題を明らかにするために、関税割当制度のもとでのチーズ原料乳の均衡価格を試算する。さらに、わが国最大のチーズ輸入先であるオーストラリアの酪農制度改革の

影響、およびWTO次期ラウンドでの関税率引き下げ交渉の行方などに言及する。

第4に、EUおよびオセアニア諸国で展開する酪農産業の構造変化を分析する。国際乳製品市場で大きな影響力を発揮してきた両地域の酪農産業は、地球的規模で構築されつつある自由貿易体制に対応するため、激しい変化をみせている。これらの動きがわが国酪農の将来にどのような影響を及ぼすことになるのか、それを究明することがいま一つの課題である。

第5に、国産チーズの安定的供給体制を新たに形成するために必要と考えられる諸条件について検討する。とくに、チーズ需給構造の変化の中からプロセスチーズ原料用ナチュラルチーズの自給率低下傾向に着目し、そのチーズ原料乳の供給体制の構築、チーズ製造コストの削減策、そのために政策の果たすべき役割などに言及する。とくに、農業政策はただ生産振興としてあるだけでなく、生産、生活、文化、自然の統合としてあるべきであるというEUの政策スタンスを視野に入れて、乳製品輸入の増加と生乳需給の不均衡という悪循環が繰り返される、わが国の乳製品市場をどのようにしたら再編することができるのか問われる。

3. 成 果

本研究を通して得られた知見は、以下のように要約することができる。つまり、①国産チーズの振興においては、現行の「抱き合わせ消費」を目的とした関税割当制度に評価すべき点が多く、この制度の下でプロセスチーズ向け原料用ナチュラルチーズの生産振興を図ること、②この場合にも、欧州、オセアニア諸国では、WTO体制に沿って既に乳業再編が着実に進められており、乳製品製造ではチーズ生産を強化する戦略を取り、輸出競争力を高めていること、③国産チーズの新たな振興策としては、チーズ生産の太宗をなす原料用は、生産拠点を集中させ、かつ大規模プラントで生産すること、④生産を加工プロセス毎に分業・専門化し、「特定原産地保護呼称制度」などでガードしているEUのチーズ振興策に学ぶべきところがあること、⑤国産チーズ振興策、とくに原料乳の供給体制を確立するための政策は、資源循環型酪農をめざす地域あるいは生産者に限定したものであり、全国一律的ではなく選択的であるべきこと、などである。

4. キー・ワード

国産チーズ振興、チーズ原料乳、関税割当制度